

ひとりにしない！子育て・介護

生活者ネットワークの 市議会通信

市議会議員

後藤ゆう子



市民の声を、私たちが市政へ届けます

市議会議員

かとう涼子

さあゼロ・カーボンシティへ！ 地球温暖化対策が大きく前進

—— 子ども食堂、(仮称)空き家バンクなど市民の政策も実現



13 気候変動に
具体的な対策を



遅々として進まなかった市の温暖化対策。気候危機はすでに遠い国の話ではなく、私たちの暮らしに降りかかる脅威です。「地球温暖化を止めよう！ 今ならまだ間に合う！」繰り返し提案してきた政策が、いよいよ前進します。

公共施設で使用する電力を、再生可能エネルギー由来に切り替えます

庁舎や学校のほか、市民集会所や保育園など小さな施設も含め、約170ある公共施設のすべてを再生可能エネルギー由来の電力プランに切り替えます。

森林整備でCO₂を吸収！カーボンオフセット事業を実施します

森のない西東京市は、友好姉妹都市と連携して市民参加の森林整備を実施します。森づくりで得られたCO₂吸収量で、市内のCO₂排出量の一部を相殺（オフセット）します。事業を進めるための「地球温暖化防止対策基金」も設置します。

子ども食堂への補助制度も実現！見守り機能を充実

食を通じて子どもを見守る子ども食堂に、常設の補助制度が創設されます。市内の子ども食堂は現在17団体。補助創設を機に、市民と行政とのさらなる連携が進むことを期待しています。

(仮称)空き家バンクが創設されます

「歩いて行かれる身近な場所に、活動スペースがほしい」という市民の声を受け、空き家の貸し手と借り手をマッチング（仲介）する事業が始まります。まちなかサロンやケアラズカフェなど、新たな居場所づくりの展開が期待されます。

ゆう子と涼子の「かしまし控室放談」

おかしいと感じたら、声をあげよう！ 「私の医療費通知、なんで夫宛に届くの？」



涼子 確定申告の時期だけど、国民健康保険の医療費通知届いた？
ゆう子 来た来た。私が加入者で、保険料だって自分で払っているのに、なんで夫宛に親展で届くん？夫は社会保険で、国保の加入者ではないのに…。なんかモヤモヤするわ。
涼子 保険料の納入通知は「世帯主」宛に送付が義務付けられているから、医療費通知もそれにならっているらしいよ。

ゆう子 でも医療費通知なんて、通院歴もわかるデリケートな個人情報やん？たとえ家族であっても知られたくない人もいるんじゃない？
涼子 そうか。私も、なんか変って思ってたけど、世帯主は夫だし、そういうものなのかなって思ってた。これってジェンダーバイアスなのかな。
ゆう子 働く女性が増えたから、いまは夫が社会保険、妻が国保という世帯も多いんやで。年収が130万円を超えると、配偶者の扶養を外れて自分で健康保険と年金に加入する義務があるからね。やっぱり保険料納付書や保険証、医療費通知等は、被保険者本人に送付すべきやと思う。
涼子 そうだよな。もっと個人を尊重してほしいよね。それに、おかしいと思ったら一つひとつ声をあげていくのが、私たちの大事な仕事だもんね。
ゆう子 よし、さっそく議会で提案するわ！

〈保険年金課の答弁〉
世帯の中で1人だけ国民健康保険に加入しているケースは非常に多いと認識している。ご相談いただければ真摯に対応し、個別に被保険者本人に送付するといった対応をとらせていただきたい。

ゆう子 やった。一歩前進や。

※ジェンダーバイアス：男女の役割分担や性差について、無意識のうちに固定的な思い込みや偏見を持つこと
※滋養出身のゆう子は、関西弁です



後藤ゆう子の 議会質問から

◎子どもへの新型コロナワクチン接種の積極的勧奨に反対します

基礎疾患のある小児のワクチン接種は重症化を防ぐために有効ですが、子どもの感染者は軽症や無症状者が多く、全員が接種する必要はないと考えます。ワクチンの長期的な安全性や、効果に関するデータが明らかでない上に、副反応についての調査や情報が非常に少ないことも問題です。市には十分な情報提供を、保護者の皆さまには拙速な判断や同調圧力に屈しての接種とならぬようお願いいたします。

◎相次ぐ食料品の値上げ！ 学校給食は大丈夫？

食料品の高騰が続いています。ギリギリの予算の中、子どもたちに必要な栄養量を満たす給食が提供されていることを、教育委員会の質疑を通して確認しました。栄養計算ソフトを基に、基準に沿った献立を工夫しているそう。気になる給食費の値上げは、「栄養士会などで意見交換し、課題が生じれば学校給食運営審議会へ値上げの諮問を検討する」との答弁。不足分には基金を活用するよう、働きかけていきます。

かとう涼子の 議会質問から



◎まだやるの？ いつまでやるの？ プレミアム応援カード

コロナ禍のプレミアム応援券事業は、もう3度目。今年は新たに、5000円の電子商品券を65歳以上の高齢者に配る「高齢者応援事業」も実施されることに。その額、占めて約4億5000万円！

地域経済のカンフル剤というけれど、経済効果を客観的に示すデータは無し。これって、単なるバラマキでは？ 事業者支援も高齢者支援も喫緊の課題。だからこそ、安易な取り組みで「支援した気」になってはダメ。もっと知恵を絞ろう！

◎田無庁舎の耐力度調査 耐用年数は「あと20～40年」?!

「老朽化した保谷庁舎を解体し、2033年までに新たな統合庁舎をつくる」とする庁舎統合方針が見直され、築39年の田無庁舎をあとどれくらい使えるかの耐久度調査が行われました。その結果は…事務棟20～40年、議会棟40年！「施設の耐用年数は50年。だから庁舎統合は不可欠」と言われ続けたのは何だったの？ 施策の根拠となる数字もデータも、市長が代われれば覆る——なんとも苦い教訓です。



波紋を広げた2つの決議

3月17日の予算特別委員会で、ある自民党の議員が「ウクライナは弱いからロシアに軍事侵攻された」と主張し、波紋呼びました。そのわずか2週間前の3月3日に、西東京市議会は全会一致で「ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」を可決していたからです。決議を侮辱する内容だと指摘を受け、発言は取り消されました。

ところが、議会最終日の3月28日に、自民党の稲垣議員より唐突に「市議会議員によるSNS等の投稿に関する決議」が提出されました。「発言の取消しがあった事実をSNSに取り上げるだけならまだしも、SNS投稿者の私見も交え、これを公開することは、議会制度そのものの信頼を揺るがしかねない」との内容は、ある議員が委員会での一部始終をSNSに投稿したことに起因するものではないかと推測します。

議員の発言は重いものです。たとえ発言を取り消したとしても、その事実まではなくなりません。また、議員がSNS等で私見を述べるのは当然であり、その責任は各々が負うべきものです。以上のことから生活者ネットは反対しましたが、自民・公明を中心に賛成13人、反対11人、棄権2人で可決してしまいました。市民益にならないばかりか、議員の対面を保つための決議であり、とても許容できません。

市民がコロナで大変な時に、議会は何をしているのか。こんなことにエネルギーを使うべきではありません。

ご意見、ご要望お待ちしております。 **TEL 042-453-4121**

生活者ネットワーク 3つのルール

選挙はカンパとボランティアで行います。

議員は最長3期でローテーション。
議員を職業化せず、誰もが議員になることで特権化しません。

議員報酬は市民の活動資金として使い、お金の流れは公開します。

発行責任者：後藤ゆう子（市議会会派：生活者ネットワーク代表）
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102（会派事務所）
TEL：042-453-4121 FAX：042-410-0014
発行日：2022年4月18日
後藤ゆう子HP <http://goto.seikatsusha.me/>
かとう涼子HP <http://kato.seikatsusha.me/>

